

ロゴマークを発表した西原社長
(後列右)と県立大の学生ら



説明。4年野村しらべさん(21)は「企業の顔となるデザインなので責任が重かった分、達成感も大きい」と話した。西原立社長は「会社設立に込めた思いを包含した素晴らしいマーク。事業への熱意が高まる」と喜んでいった。(伊東圭一)

Cキープ

企業理念を表現 ロゴマーク発表

岡山県立大と共同制作

ちゅうぎんフィナンシャルグループ(岡山市北区丸の内)の子会社で、企業の脱炭素化支援などを手がけるCキープ・コンサルテイング(同本町)は26日、岡山県立大(総社市窪木)と共同制作した自社のロゴマークを発表した。ちゅう

ぎん、地域社会(コミュニケーション)、共創(コ・クリエーション)の頭文字である三つの「C」をモチーフに企業理念を表現した。

同社は昨年9月設立。地域とともに事業展開する自社のシンボルを作ろうと同大に共同制作を依頼。デザイン学部の野宮謙吾教授や学生4人が考えたアイデアを基に意見交換を重ね、約5カ月かけて完成させた。本場で発表会があり、学生らが瀬戸内海の波をイメージして描いたことなどを

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。